

特別講義のお知らせ

筑波大学人文社会科学研究科 准教授

加藤百合氏

明治期のロシア文学の翻訳について

高須治助の『大尉の娘』訳と魯庵・四迷の『罪と罰』訳に即して

日時 2011年6月10日(金) 午後3時～午後4時40分

場所 東京大学(本郷キャンパス)

文学部3号館7階スラヴ文学演習室

〒113-0033 東京都文京区本郷7 3 1



『花心蝶思録』(日本で最初のロシア文学の翻訳)より

加藤百合氏は、東京大学大学院比較文学比較文化専攻における修士論文をもとにした西村伊作伝『大正の夢の設計家』(朝日選書)でつとに知られる比較文学研究者ですが、その後、研究の軸を日露比較文学に移し、最近、博士論文『明治期露西亜文学翻訳論攷』を完成させ、東京大学より博士号を授与されました。これは明治期の日本におけるロシア文学の様々な翻訳の試みについて、二葉亭四迷、魯庵、鷗外、紅葉、昇曙夢などの仕事に即して、緻密かつ包括的に論じた浩瀚な研究です。今回、その研究成果の一端を披露していただけることになりました。この特別講義は、スラヴ語スラヴ文学大学院演習「スラヴ文学研究へのアプローチ」の一環として行なわれるものですが、専門的関心をお持ちの皆様のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先

東京大学人文社会系研究科・文学部スラヴ語スラヴ文学研究室 / 現代文芸論研究室

電話 03(5841)3847 または 03(5841)7955

交通 地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷3丁目」、南北線「東大前」、千代田線「根津」など下車、いずれも徒歩10分程度

東大構内案内図 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_05_03_j.html

東大本郷へのアクセス http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

東京大学文学部3号館への案内図

